

平成 26 年度 全国学力・学習状況調査（文部科学省）
島根県（公立）の結果概要

I 調査の概要

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査の対象

(1) 国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。

ア 小学校調査

小学校第 6 学年、特別支援学校小学部第 6 学年

イ 中学校調査

中学校第 3 学年、中等教育学校第 3 学年、特別支援学校中学部第 3 学年

(2) 特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、調査の対象としないことを原則とする。

ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒

イ 知的障がい者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

3 調査実施日 平成 26 年 4 月 22 日（火）

4 調査の内容

①教科に関する調査

主として「知識」に関する問題 〔国語 A、算数・数学 A〕	主として「活用」に関する問題 〔国語 B、算数・数学 B〕
<ul style="list-style-type: none"> ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容 ・実生活において不可欠であり常に活用できようになっていることが望ましい知識・技能等 	<ul style="list-style-type: none"> ・知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力などにかかわる内容 ・様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容等

②質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

5 県内公立学校で調査を実施した学校数・児童生徒数

市町村立小学校及び県立特別支援学校小学部 2 校

	実施予定学校数	実施学校数（実施率）	実施児童数
公立学校合計	211	210 (99.5%)	5,945 人

※未実施校 1 校（理由）インフルエンザのため

市町村立中学校及び県立特別支援学校中学部 4 校

	実施予定学校数	実施学校数（実施率）	実施生徒数
公立学校合計	101	99 (98.0%)	5,814 人

※未実施校 2 校（理由）インフルエンザ及び体調不良のため

II 公表について

1 公表の内容

- (1) 島根県及び全国の教科に関する調査結果
- (2) 島根県及び全国の質問紙調査の結果
 - ・児童生徒質問紙の結果
 - ・学校質問紙の結果

2 公表結果に関する留意事項

○本調査の結果については、児童生徒が身に付けるべき学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎないこと。

3 その他

○島根県教育庁教育指導課のホームページに公表資料を掲載する。

III 教科に関する調査の結果

1 結果の概要（島根県と全国の平均正答率との様子から）

- 小学校国語A、中学校国語A、Bにおいて、平均正答率が全国平均を上回った。また、小学校算数、中学校数学は全国平均正答率を下回った。
- 正答率の分布をみると、小学校算数A、Bで正答数が多い層の割合が全国に比べ極めて少なく、算数の基礎的・基本的な知識の確実な習得に課題が見られた。
- 小学校国語では、漢字を正しく書く問題や、故事成語の意味と使い方を問う問題が全国平均を上回った。一方、記述式問題において全国平均正答率をやや下回り、分かったことや疑問に思ったことを整理し、それらと関係付けながらまとめて書くことに課題が見られた。
- 中学校国語では、文脈に即して漢字を正しく書く問題において正答率が全国平均より低くなっており、言語に関する知識の習得に課題が見られた。中学校数学では、「資料の活用」及び「関数」領域における問題の正答率が全国平均を下回っており、これらの領域における基礎的・基本的な知識の確実な習得に課題が見られた。

2 各教科の平均正答率

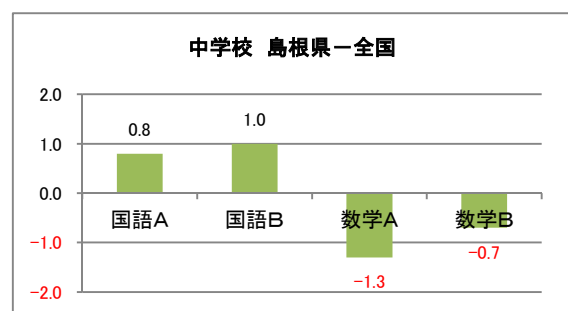
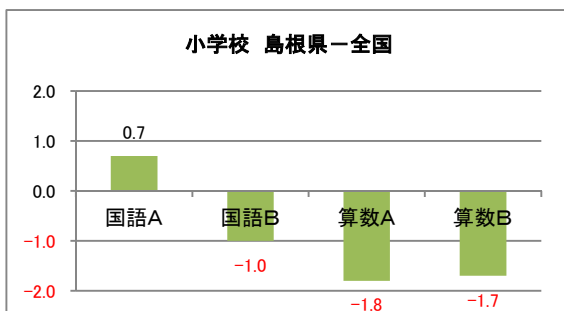
小学校

	平均正答率 (%)		
	島根県	全国	差
国語A	73.6	72.9	+0.7
国語B	54.5	55.5	-1.0
算数A	76.3	78.1	-1.8
算数B	56.5	58.2	-1.7

中学校

	平均正答率 (%)		
	島根県	全国	差
国語A	80.2	79.4	+0.8
国語B	52.0	51.0	+1.0
数学A	66.1	67.4	-1.3
数学B	59.1	59.8	-0.7

■全国の平均正答率との差（島根県－全国）[グラフ表示]



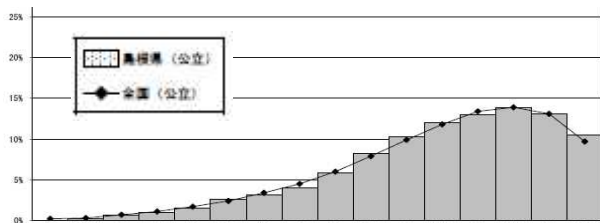
3 各教科の正答数分布状況及び分類・区分別集計結果

◎：県が全国を3ポイント以上上回るもの ○：県が全国を1ポイント以上3ポイント未満上回るもの
 —：県と全国の差が1ポイント未満のもの
 △：県が全国を1ポイント以上3ポイント未満下回るもの ▲：県が全国を3ポイント以上下回るもの

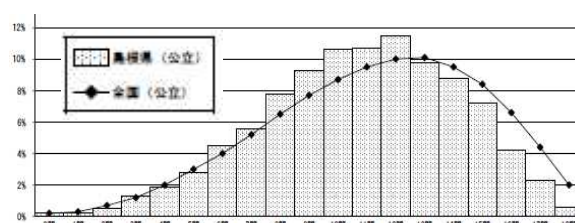
【小学校 国語A】

1 正答数分布状況

[平成26年度 国語A]



【参考】[平成25年度 国語A]



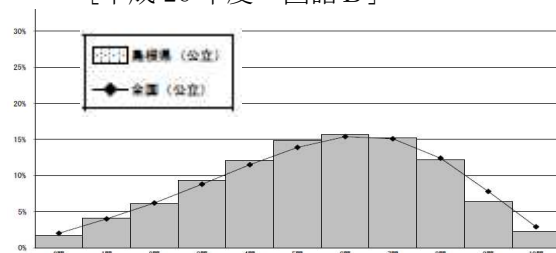
2 分類・区分別集計結果

学習指導要領の領域等	評価の観点	対象設問数	平均正答率 (%)			
			島根	全国	差	
	国語への関心・意欲・態度	0	—	—	—	—
話すこと・聞くこと	話す・聞く能力	1	70.4	72.4	-2.0	△
書くこと	書く能力	3	70.5	72.2	-1.7	△
読むこと	読む能力	2	66.7	68.5	-1.8	△
言語事項	言語についての知識・理解・技能	12	75.0	73.7	1.3	○

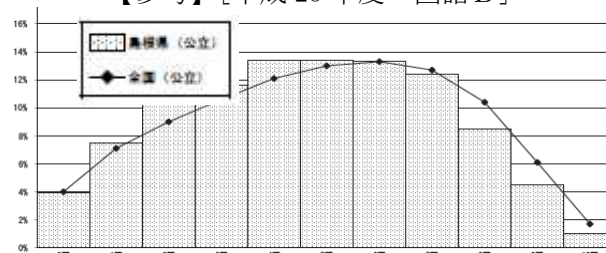
【小学校 国語B】

1 正答数分布状況

[平成26年度 国語B]



【参考】[平成25年度 国語B]



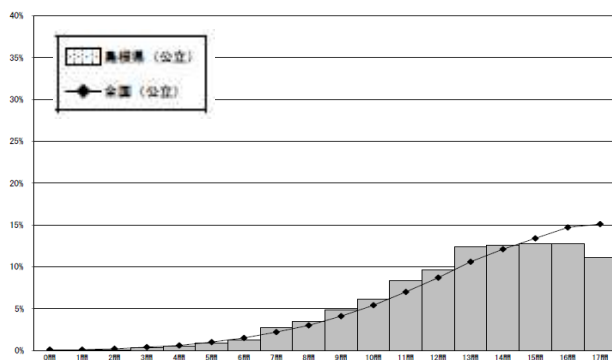
2 分類・区分別集計結果

学習指導要領の領域等	評価の観点	対象設問数	平均正答率 (%)			
			島根	全国	差	
	国語への関心・意欲・態度	3	32.3	34.4	-2.1	△
話すこと・聞くこと	話す・聞く能力	3	49.8	51.2	-1.4	△
書くこと	書く能力	3	32.3	34.4	-2.1	△
読むこと	読む能力	7	56.5	57.3	-0.8	—
言語事項	言語についての知識・理解・技能	2	69.9	69.8	0.1	—

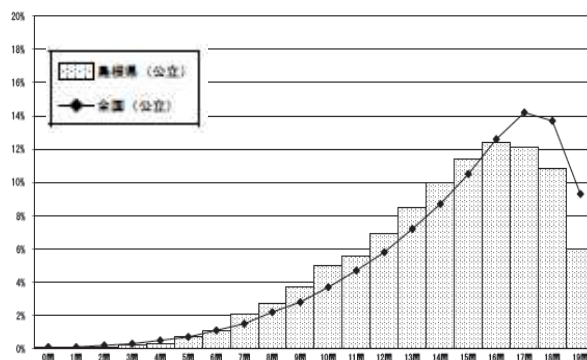
【小学校 算数A】

1 正答数分布状況

[平成 26 年度 算数A]



【参考】[平成 25 年度 算数A]



2 分類・区別平均正答率

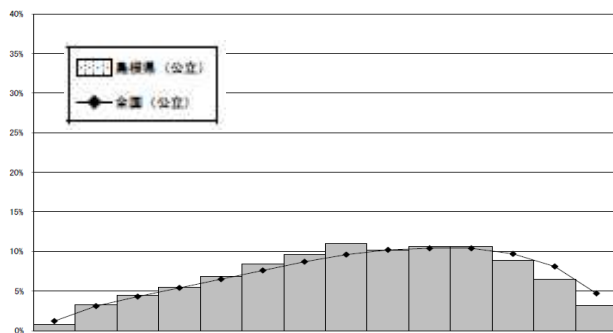
学習指導要領の領域	対象設問数	平均正答率 (%)		
		島根	全国	差
数と計算	8	80.0	81.8	-1.8 △
量と測定	3	73.0	74.8	-1.8 △
図形	4	70.1	71.8	-1.7 △
数量関係	3	79.7	81.3	-1.6 △

評価の観点	対象設問数	平均正答率 (%)		
		島根	全国	差
算数への関心・意欲・態度	0			
数学的な考え方	0			
数量や図形についての技能	8	87.4	87.9	-0.5 —
数量や図形についての知識・理解	9	66.4	69.5	-3.1 ▲

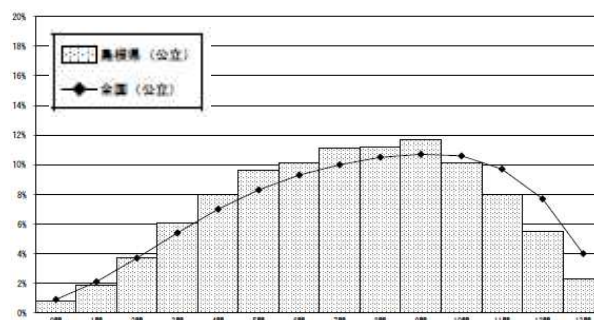
【小学校 算数B】

1 正答数分布状況

[平成 26 年度 算数B]



【参考】[平成 25 年度 算数B]



2 分類・区別平均正答率

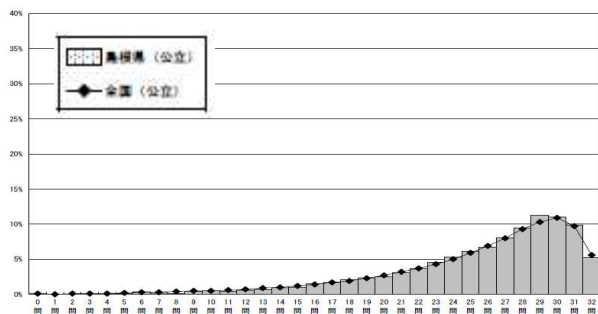
学習指導要領の領域	対象設問数	平均正答率 (%)		
		島根	全国	差
数と計算	8	59.8	61.3	-1.5 △
量と測定	5	54.8	56.5	-1.7 △
図形	1	63.9	65.7	-1.8 △
数量関係	5	54.6	56.2	-1.6 △

評価の観点	対象設問数	平均正答率 (%)		
		島根	全国	差
算数への関心・意欲・態度	0			
数学的な考え方	6	45.7	47.8	-2.1 △
数量や図形についての技能	4	75.8	76.2	-0.4 —
数量や図形についての知識・理解	3	52.2	54.8	-2.6 △

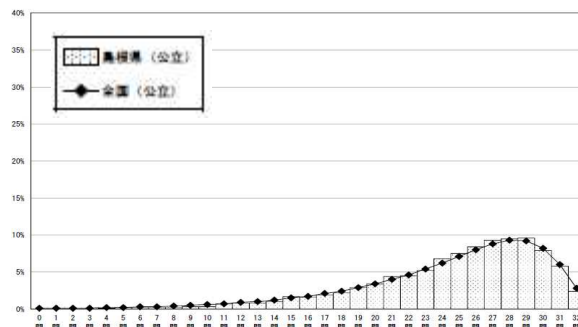
【中学校 国語A】

1 正答数分布状況

[平成 26 年度 国語 A]



【参考】[平成 25 年度 国語 A]



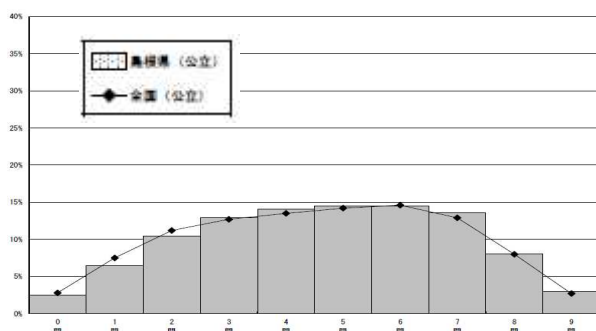
2 分類・区別集計結果

学習指導要領 の領域等	評価の観点	対象 設問数	平均正答率 (%)			
			島根	全国	差	
	国語への関心・意欲・態度	0				
話すこと・聞くこと	話す・聞く能力	4	72.6	72.3	0.3	—
書くこと	書く能力	6	85.4	83.4	2.0	○
読むこと	読む能力	5	84.2	82.9	1.3	○
言語事項	言語についての知識・理解・技能	17	79.0	78.7	0.3	—

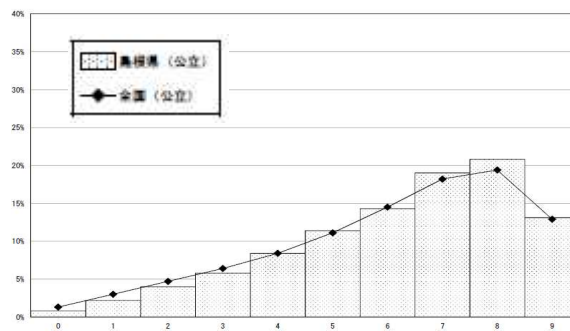
【中学校 国語B】

1 正答数分布状況

[平成 26 年度 国語 B]



【参考】[平成 25 年度 国語 B]



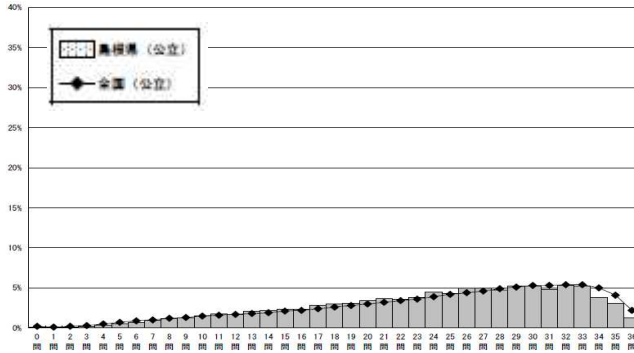
2 分類・区別集計結果

学習指導要領 の領域等	評価の観点	対象 設問数	平均正答率 (%)			
			島根	全国	差	
	国語への関心・意欲・態度	3	42.3	41.0	1.3	○
話すこと・聞くこと	話す・聞く能力	0				
書くこと	書く能力	3	42.3	41.0	1.3	○
読むこと	読む能力	8	50.7	49.2	1.5	○
言語事項	言語についての知識・理解・技能	4	57.3	56.8	0.5	—

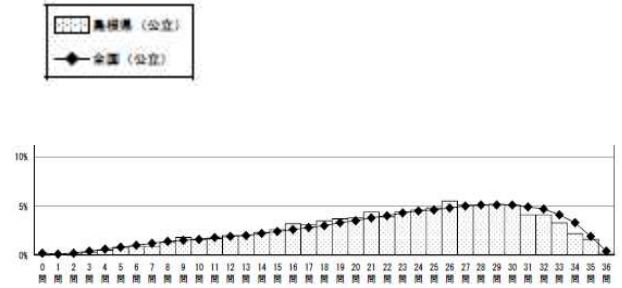
【中学校 数学A】

1 正答数分布状況

[平成 26 年度 数学 A]



【参考】[平成 25 年度 数学 A]



2 分類・区別平均正答率

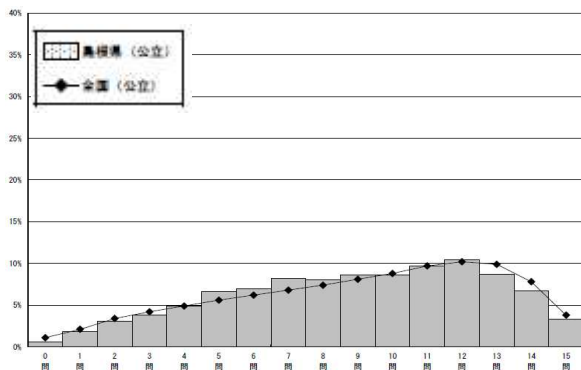
学習指導要領の領域	対象設問数	平均正答率 (%)			差
		島根	全国	差	
数と式	12	76.7	77.4	-0.7	—
図形	12	66.1	66.4	-0.3	—
関数	8	56.0	58.0	-2.0	△
資料の活用	4	55.1	59.1	-4.0	▲

評価の観点	対象設問数	平均正答率 (%)			差
		島根	全国	差	
数学への関心・意欲・態度	0				
数学的な見方や考え方	0				
数学的な技能	15	66.6	68.2	-1.6	△
数量や図形などについての知識・理解	21	65.8	66.8	-1.0	△

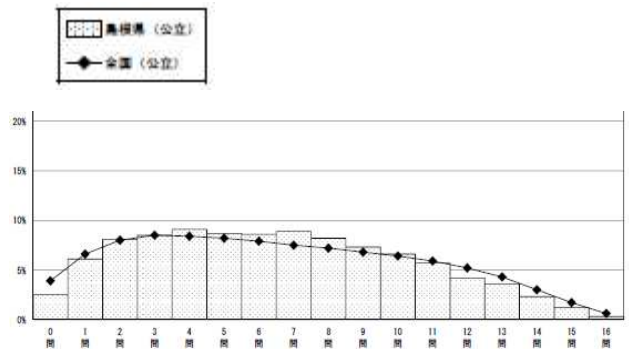
【中学校 数学B】

1 正答数分布状況

[平成 26 年度 数学 B]



【参考】[平成 25 年度 数学 B]



2 分類・区別平均正答率

学習指導要領の領域	対象設問数	平均正答率 (%)			差
		島根	全国	差	
数と式	3	54.4	56.9	-2.5	△
図形	5	57.8	58.6	-0.8	—
関数	5	64.1	64.4	-0.3	—
資料の活用	2	56.6	55.9	0.7	—

評価の観点	対象設問数	平均正答率 (%)			差
		島根	全国	差	
数学への関心・意欲・態度	0				
数学的な見方や考え方	14	56.9	57.9	-1.0	△
数学的な技能	0				
数量や図形などについての知識・理解	1	89.2	87.5	1.7	○

4 各教科の正答率の推移及び全国との差

○平均正答率

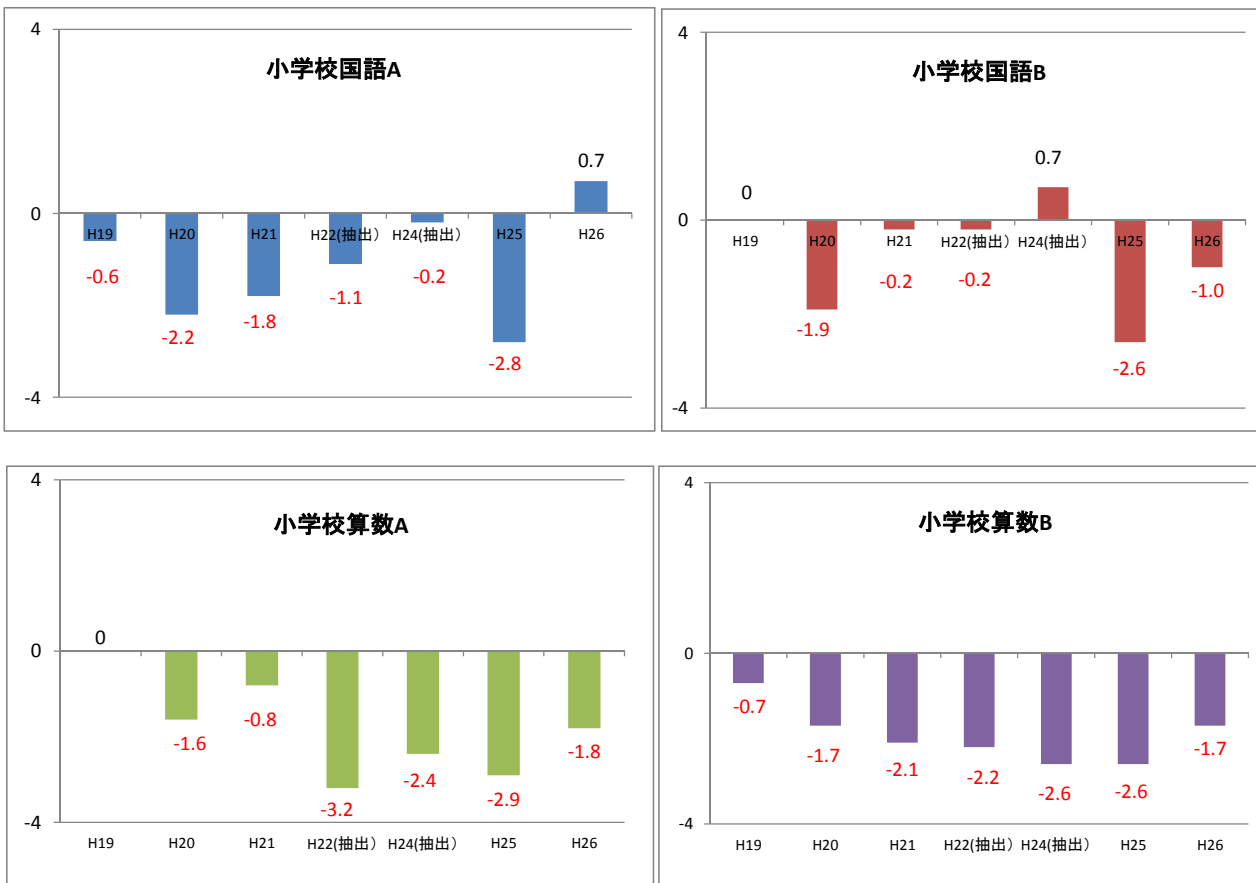
- ◎：県が全国を3ポイント以上上回るもの ○：県が全国を1ポイント以上3ポイント未満上回るもの
- －：県と全国の差が1ポイント未満のもの
- △：県が全国を1ポイント以上3ポイント未満下回るもの ▲：県が全国を3ポイント以上下回るもの

【小学校】

教科等			H19		H20		H21		H22(抽出)		H23	H24(抽出)		H25		H26	
国語	国語A	島根県	81.1		63.2		68.1		82.2		未実施	81.4		59.9		73.6	
		全国	81.7	－	65.4	△	69.9	△	83.3	△		81.6	－	62.7	△	72.9	－
		県－全国	-0.6		-2.2		-1.8		-1.1			-0.2		-2.8		0.7	
	国語B	島根県	62.0		48.6		50.3		77.6			56.3		46.8		54.5	
		全国	62.0	－	50.5	△	50.5	－	77.8	－		55.6	－	49.4	△	55.5	△
		県－全国	0.0		-1.9		-0.2		-0.2			0.7		-2.6		-1.0	
算数	算数A	島根県	82.1		70.6		77.9		71.0		未実施	70.9		74.3		76.3	
		全国	82.1	－	72.2	△	78.7	－	74.2	▲		73.3	△	77.2	△	78.1	△
		県－全国	0.0		-1.6		-0.8		-3.2			-2.4		-2.9		-1.8	
	算数B	島根県	62.9		49.9		52.7		47.1			56.3		55.8		56.5	
		全国	63.6	－	51.6	△	54.8	△	49.3	△		58.9	△	58.4	△	58.2	△
		県－全国	-0.7		-1.7		-2.1		-2.2			-2.6		-2.6		-1.7	

※平成22年度、24年度の調査については、調査方法が抽出調査であるため、数値に誤差を含んでいる。

全国との差の推移

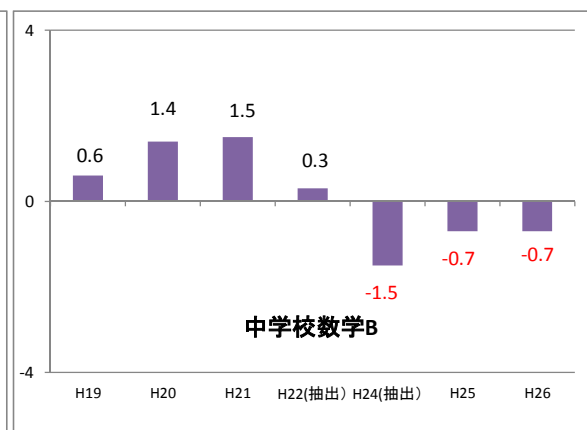
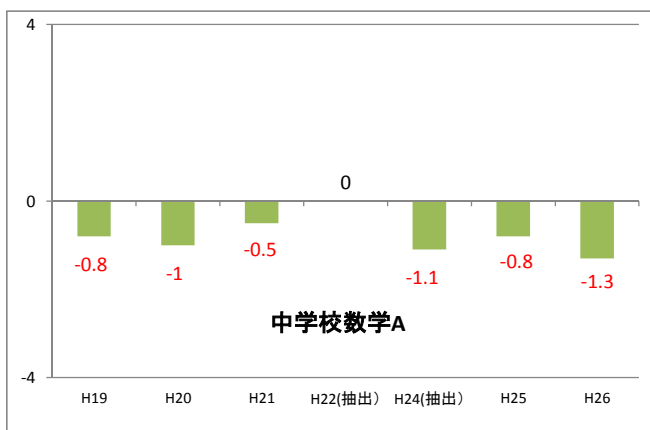
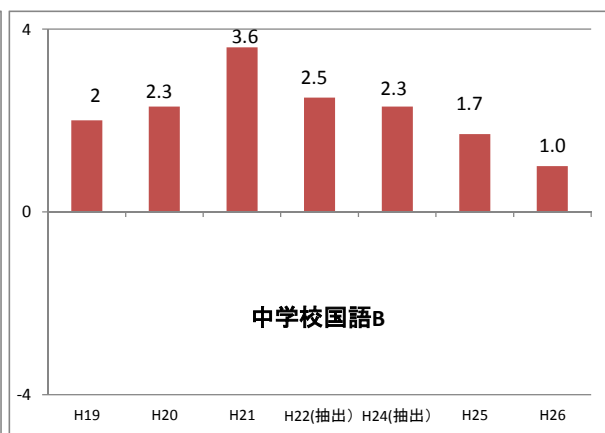
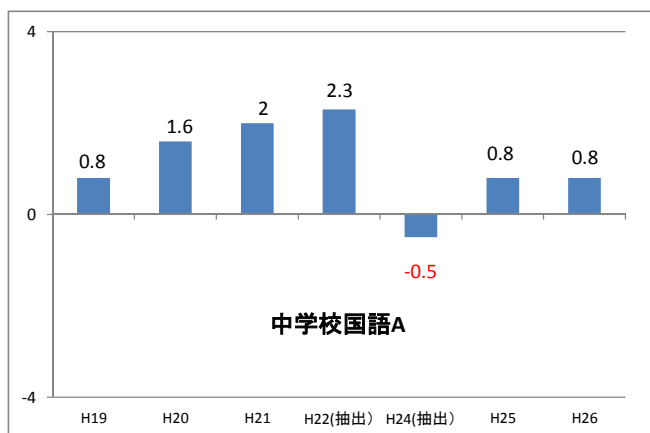


【中学校】

教科等		H19		H20		H21		H22(抽出)		H23	H24(抽出)		H25		H26		
国語	国語A	島根県	82.4	-	75.2	○	79.0	○	77.4	未実施	74.6	-	77.2	-	80.2	-	
		全国	81.6		73.6		77.0		75.1		76.4		79.4				
		県-全国	0.8		1.6		2.0		2.3		0.8		0.8				
	国語B	島根県	74.0	○	63.1	○	78.1	◎	67.8		○	65.6	○	69.1	○	52.0	○
		全国	72.0		60.8		74.5		65.3			67.4		51.0			
		県-全国	2.0		2.3		3.6		2.5			1.7		1.0			
数学	数学A	島根県	71.1	-	62.1	△	62.2	-	64.6	-		61.0	△	62.9	-	66.1	△
		全国	71.9		63.1		62.7		64.6			63.7		67.4			
		県-全国	-0.8		-1.0		-0.5		0.0			-1.1		-0.8		-1.3	
	数学B	島根県	61.2	-	50.6	○	58.4	○	43.6		-	47.8	△	40.8	-	59.1	-
		全国	60.6		49.2		56.9		43.3			41.5		59.8			
		県-全国	0.6		1.4		1.5		0.3			-1.5		-0.7		-0.7	

※平成22年度、24年度の調査については、調査方法が抽出調査であるため、数値に誤差を含んでいる。

全国との差の推移



IV 質問紙の回答状況から

1 概要

- 学校に対する調査における「地域の人材・施設の活用」の項目では、「地域の人材を外部講師として招聘し授業を行った」割合や、「保護者や地域の方が学校における教育活動に参加した」割合について肯定的な回答が全国平均を大きく上回り、地域に密着した教育活動が積極的に行われていることが伺える。
- 「授業の冒頭で目標（ねらい・めあて）を示す活動」や「授業の最後に学習したことを振り返る活動」を計画的に取り入れている学校の割合や発展的な学習等の指導を行っている割合が全国平均に比べて低く、国語科、算数科の指導方法に引き続き改善が求められる。

2 学校質問紙より

○地域の人材を外部講師として招聘し授業を行った

【小学校】県 86.2% 全国 76.3% (+9.9%) 【中学校】県 80.8% 全国 58.5% (+22.3%)

○保護者や地域の方が学校における教育活動に参加した

【小学校】県 92.8% 全国 82.7% (+10.1%) 【中学校】県 84.8% 全国 67.2% (+17.6%)

△授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた

【小学校】県 75.3% 全国 91.6% (-16.3%) 【中学校】県 74.7% 全国 89.2% (-14.5%)

△授業の冒頭で目標（めあて・ねらい）を示す活動を計画的に取り入れた

【小学校】県 88.0% 全国 96.9% (-8.9%) 【中学校】県 87.9% 全国 94.0% (-6.1%)

△算数・数学の指導として発展的な学習の指導を行った

【小学校】県 47.7% 全国 58.3% (-10.6%) 【中学校】県 44.4% 全国 61.3% (-16.9%)

※数字は「よく行った」「どちらかといえば行った」の割合

3 児童生徒質問紙より

○今住んでいる地域の行事に参加している

【小学校】県 77.8% 全国 68.0% (+ 9.8%) 【中学校】県 47.4% 全国 43.5% (+ 3.9%)

△前の学年までに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思う

【小学校】県 71.0% 全国 82.0% (-11.0%) 【中学校】県 55.7% 全国 71.5% (-15.8%)

△前の学年までに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思う

【小学校】県 63.3% 全国 71.9% (- 8.6%) 【中学校】県 42.7% 全国 53.3% (-10.6%)

△算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える

【小学校】県 73.2% 全国 79.4% (- 6.2%) 【中学校】県 56.7% 全国 67.4% (-10.7%)

※数字は「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合

V 今後の対応（学力育成推進プランに基づく取組）

学力と学習状況の分析に基づき授業改善を推進する

1. 県独自の「学校用分析補助シート」の作成、配付

各学校における学力調査結果から学校の課題の把握や児童生徒のつまづきを分析し、全校体制で授業改善を図る。

2. 「小学校学力育成リーダー研修」の実施

目的・・・島根県の小学校にみられる課題やその改善に向けた具体的な指導方法について研修し、授業改善につなげる。

日時・・・9月5日（金）西部会場、9月12日（金）東部会場

対象・・・全小学校の学力育成に中核的な役割を担う教員

講師・・・文部科学省算数・数学担当学力調査官

3. 県独自の「到達度確認プリント」の作成、配信

児童生徒の学力の定着状況を把握し、当該学年において身に付けるべき学力定着のための個別指導を充実させる。また、「学習プリント配信システム」の活用を推進する。

4. 授業力のある教員の授業実践や効果的な学校の取組（研修）を収集し、各学校へ情報提供をする。